

総合試験（小論文）【Ⅱ期 教育・人文、法学、経済学】

（教育・人文系，法学系，経済学系領域）

下記の課題をよく読み、自身の考えを様式（５）総合試験（小論文）に記載し、他の出願書類とともに指定の期日までに提出（郵送）してください。

課題： ジェンダー格差

性別によらない自己実現と個々人の意思を尊重し合う社会、すなわちジェンダー平等の社会の早期実現が望まれています。しかし、わが国ではその実現に向けて未だ多くの問題があります。ジェンダー格差の解消に向けた方策をひとつ考え、論理的に記述して下さい。

（注意事項）

*使用言語は、日本語または英語とします。また、字数は日本語の場合、1,000字程度、英語の場合は500words程度です。手書き、Word等の使用のいずれも可とします。

*出典、引用の明記の仕方は、次頁を参照してください。

*質問がある場合は募集要項の7. 注意事項・その他（9）問い合わせ・連絡先へお問い合わせください。ただし、課題の内容に関する質問には応じられません。

*口述試験・面接の際、回答の内容等について質問することがあります。

様式（5）

氏名		受験番号	※
----	--	------	---

総合試験（小論文）

以下の例示のように、出典(参考文献等)は、論述のどの部分に引用したのかが明確になるようにしてください。

例 1)

．．．．．であると指摘されている（尾崎ら，2002）。

例 2)

広井（2008）によると，．．．．．ことが明らかとなっている。

例 3)

文化庁が設置した「映画振興に関する懇談会」によると，これからの日本映画の振興として，．．．．．が重視されている（文化庁）。

（参考文献）

尾崎正明・小越眞佐司：都市の水循環における雑用水利用の役割，土木学会論文集 No.706，pp.7-18，2002.

広井良典：「コミュニティの中心」とコミュニティ政策，千葉大学公共研究，第5巻，第3号，pp.48-72，2008.

文化庁ホームページ

<<https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkashingikai/kondankaito/eiga/eigashinko/index.html>>，2024.7.8.閲覧.